



# 横浜再発見! ～歴史編～ 今と昔 探検クルーズ乗船記

ピア象の鼻棧橋から発着する船で「横浜港の歴史と産業についての探検クルーズを行っている」というので今回歴史編に体験乗船してきました。船はパーティなどにも使用されている双胴船の「リザーブ1」です。(49t・定員68名)

取材当日は快晴、午前11時に象の鼻を出発。乗船者30数名。月刊誌「いきいき」11月号(いきいき株式会社発行)に掲載された「ヨコハマを歩こう」特集で募集を募った皆さんと一緒でした。船内はブラウンと白を貴重とした清潔感あふれる内装です。デッキからも座って景色が眺められ、乗船客はめいめい気に入った場所に腰掛けます。船が離岸するとまずは発着地の「象の鼻」説明から。横浜開港150周年にあわせ再整備された象の鼻は現在の横浜の新名所となっていますが、開港時の象の鼻地図など船内に数箇所設置された画面に映し出しながら説明を進めていきます。大さん橋、山下公園(フランス波止場跡)、東水提、ペリーが横浜に上陸した時の艦隊停泊地付近、コットンハーバー(神奈川湊、勝海舟が設計した神奈川台場)などを巡り、ペリー来航の図なども含め45分間のクルーズでは、画面にはおよそ約60種類の図や写真など貴重な資料が次々に写しだされます。中でも黒船をCG処理し前出の停泊地付近の説明画面に取り入れたのには乗船客達からも歓声があがるほどでした。船長を含む6名全員のクルーが歴史編、産業編の説明を行う事が出来、原稿も全て手作り。企画発案後、原稿資料を探す所からスタートしたのだそうです。まさにゼロからのスタート。インターネットで誰でも簡単に情報が手に出来る現代ですが、あえて図書館や横浜開港資料館など自分達の足や頭を使いコツコツと資料を集め、作った最初の原稿は膨大な頁数になり、とても45分では説明できないものに…。船をルート通りに動かし原稿をあわせ、練り直し作業の末、今の形に落ち着いたのだそうです。その原稿ですが、時々ブラッシュアップしながら何度乗っても面白いと言われるクルーズにしたいとの事。クルーの皆さんの熱い思いが伝わってきました。ここにもまた熱いみなとびと発見でした。歴史編は内防波堤内を回るルートですが、内容としては盛りだくさんで楽しめるものでした。

**【運営】 ケーエムシーコーポレーション TEL 045-290-8377 [www.yokohama-cruise.com](http://www.yokohama-cruise.com)**

平日のみの運航 大人1200円/中高生800円/小学生600円 運航時間など詳しくはお問い合わせください。



若いクルーが一人何役もこなします



船内での様子